

(単元) 消費者として自立する

(本時のねらい)

- ・適切な支払い方法について資料を活用して考え, まとめたり, 発表したりすることができる。
- ・キャッシュレス社会の利便性と問題点について理解する。

(ICT活用方法)

- ・ICTを活用して, 授業をパワーポイントで進め流れを理解できる。班ごとにまとめた内容を視覚的に確認しながら発表を聞くことができる。また, カメラ(パソコン)を用いることで, 話し合いの途中経過をクラスで共有することができる。ICTを活用することでクラス全体が集中して考え, 話し合うことができる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を確認する。 ・前時の学習を振り返り, 発表の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> *電子黒板に各班がまとめた内容を映し発表する。 	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・班で調べたことについて, 他者に伝わるよう発表する。 ・商品の購入について, グループで話し合い, 意見をまとめ, 発表する。 ・消費者信用について確認する。 ・多重債務について考える。 	(聴き手) <ul style="list-style-type: none"> ・記録を取りながら発表を聞くよう促す。 ・なぜその支払い方法を選んだか, 理由を考えさせる。 ・教科書を用いて販売信用について示す。 ・消費者金融について示す。 	<ul style="list-style-type: none"> *リアルタイムでまとめた用紙を映し発表していく。 *パワーポイントを見る。 	

		・多重債務について、その根本的な原因について考えさせるとともに、消費者として必要な対応について認識させる。	
まとめ 5分	・学習の内容を振り返り、ワークシートをまとめる。	・消費者として適切な意思決定をすることの大切さを知らせ、まとめとする。	

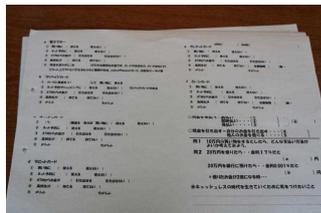
(授業の様子)



生徒の様子



まとめた内容を発表する生徒



ワークシート



板書と ICT

(生徒の反応と課題, 改善を要する点)

授業のねらいとして、以下の2点を評価の規準とした。

- ・適切な支払い方法について資料を活用して考え、まとめたり、発表したりしている。 【思考・判断・表現】
- ・キャッシュレス社会の利便性と問題点について理解している。 【知識・理解】

授業のまとめのところで今後の買い物の方法、心構えを尋ねたところ、いろいろな支払い方法の中から、適切な方法を選ぶことの必要性と安易なクレジットの活用、キャッシングの危険性を感じている様子うかがえた。ICTを活用することで板書の時間を短縮することができ、生徒たちの話し合いや活動を観察したり、促したりすることができた。